

令和4年度第3回三郷町総合教育会議

令和5年2月21日

事務局

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

ただ今より、令和4年度「第3回三郷町総合教育会議」を開催させていただきます。まず会議に際しまして2点ご報告させていただきます。1点目は今回芝崎委員が欠席の旨ご報告いたします。2点目、今回の会議について傍聴を公募させていただきましたが、傍聴者がおりませんでしたことをご報告いたします。

それでは、始めに開会にあたりまして、森町長よりご挨拶を申し上げます。

町長（森 宏範）

皆さん、おはようございます。本日はお忙しい中、令和4年度第3回三郷町総合教育会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の会議内容は盛りだくさんのものとなっておりますが、中でも来年度の予算について皆さまに聞いていただきたいと思っております。三郷町では来年度の予算について「インクルーシブ予算」が大きなポイントとなっております。インクルーシブ予算とは、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、障がいの有無や性別、年齢、国籍等を問わずすべての方が一緒に暮らせるまちとして、教育分野だけでなくまちづくりの中にインクルーシブを取り入れていこうということが令和5年度の予算となっております。その中の一環として、ジェンダーフリーという言葉をよく聞かれると思いますが、3月号広報で中学校の制服の特集をしております。中学校創設以来の制服の変更となり、選択制となることでジェンダーフリーを目指します。こういった環境づくりを行うことができたということは良かったと思えます。

そして、その他にも予算に関してはいろいろとございます。奈良クラブが来たこと、1月29日にはナラディーアの練習拠点が開所し、もうすぐ三郷町はホームタウン化することで、三郷町は奈良県で唯一のJリーグのあるまちとな

ります。そのことにより、関連予算のご説明もございます。大きくはF S S 3 5キャンパスの中にスポーツパークができ、4月の開設に向けて準備を行っております。やはりその場所もインクルーシブの観点を取り入れておりますので、皆さまのご意見もいただければと思います。

また、今までは全体予算から一定の割合を教育費とすることを決めておりましたが、令和5年度は予算総額が111億2,800万円と大きくなりました。大きくなった一つとして脱炭素先行地域に選ばれたことによる予算が反映され、総額が大きく上がっております。総額が増額したことにより、教育費の割合は前年度より下がっておりますが、教育費の事業総額としては増額しておりますので、お伝えさせていただきたいと思います。

本日は、令和5年度に向けた予算をご説明させていただきますが、ご審議いただき、環境が良くなれば教育も良くなると考えておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

それでは、本会議の議長につきましては、委員の皆さまで順番にお願いすることとなっております、本来であれば芝崎委員にお願いするところではございますが、本日欠席のため大西教育長にお願いしております。それでは、大西教育長よろしくお願いいたします。

大西教育長

本日の会議の司会を務めさせていただきます大西と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に従い議事をすすめてさせていただきます。次第2案件（1）地域の子ども見守り事業について、を議題とします。担当課より説明をお願いします。

担当課（教育総務課）

資料の1ページをお願いします。

地域の子ども見守り事業、予算額461万7千円についてご説明いたします。概要は、防犯カメラの設置場所を中心に、見守り機器（受信機）を30箇所設置し、発信機（ビーコン）を携帯した児童が受信機付近を通過すると、保護者に通知が届く「見守りビーコンシステム」を構築します。保護者の方はいつ、どの受信機付近を通過したのかりアルタイムに通知が届く他、後ほど履歴を確認していただくことも可能です。なお、ビーコンを利用するには保護者のIDとパスワードの登録が必要となり、児童1人あたりの初回登録料と月額の利用料が発生します。三郷町としては、すべての児童を見守るためまた経済的理由などにより利用できない家庭が無いよう、小学1～6年生までの利用料等の全額を公費で負担することにより、保護者の負担を軽減したいと考えております。そして、令和5年の児童数を資料に掲載させていただいております。転入や私立中学校に進学する児童も含めて、1,093名の児童が通学予定であり、費用に換算しますと4,616,832円の公費負担を計上しております。また、本来であれば、児童1人あたりの初回登録料が2,620円、月額利用料が440円を支払う必要がありますが、今回公費負担（保護者負担無し）とすることで加入率を大きく見込むことができるため、導入業者と協議をした結果、公費負担はあるものの初回登録料が無料、月額利用料は352円と調整することができ、通常導入する費用よりも大幅に費用を抑えた形で予算計上をさせていただいております。そして、資料には記載ございませんが、隣町の王寺町では見守り事業については、無料プランと有料プランの2つございます。無料プランでは、保護者に通知が届かずどの場所を通過したのかというデータ上履歴が残るのみとなります。一方で有料プランでは三郷町と同じ内容で保護者に通知が届くものとなっています。月額は495円。登録後2カ月は無料となっており3ヶ月目以降は費用がかかり現在事業は開始されています。そして、別冊の見守りビーコンシステムの設置位置詳細をご覧ください。まず1ページ目は実際児童が携帯する受信機となっております。また、ページをめくっていただきますと実際に30箇所設置する場所の一覧を掲載しております。資料で「防犯カメラと併設」と記載のあるところは、防犯カメラと一緒に設置します。また、備考に「付近にカメラあり」と記載のあるところは防犯カメラ

と同じ柱ではありませんが、付近に受信機を設置させていただこうと考えているところがございます。また、次のA3の資料では町の地図に設置場所を番号で表示しており、実際の設置する場所も写真等をふまえ資料を添付させていただいております。①につきましては信貴山下駅前場所となり、平面地図と実際どのあたりに設置するかという写真をつけており、その30箇所の資料を添付しておりますので、ご覧いただけたらと思います。そして、現在ビーコンサービス開始に向けて、受信機の設置工事を本日（2月21日）から始めております。3月中には保護者の方へ通知を考えており、合わせて4月広報で事業開始の掲載を予定しております。地域の子ども見守り事業については以上となります。よろしくお願いいたします。

大西教育長

ただいま、説明のありました地域の子ども見守り事業につきまして、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

窪内委員

中学生は対象となっておりますが、理由はございますでしょうか。

担当課（教育総務課）

中学校に入りますと、それぞれの生徒によって部活動等で帰宅時間が大きく異なってくることと、多感な時期でございますのでビーコンを携帯するということが体が難しくなるのではと考えております。小学生であれば学童や下校時にはシルバー人材センターの方や学校のボランティアの方など見守りをいただいているところもあり、地域で見守りをという意識がより強いため、まずは小学生からと考えております。

窪内委員

子ども見守りということであれば、中学生も含まれるかなと思ったので、聞かせていただきました。そういった理由があるのであれば大丈夫かなと思います。模範答弁を聞かせていただきたいと思い、質問させていただきました。ありがとうございます。

大西教育長

その他、何かございますでしょうか。

下方委員

気になる点が2点あり、質問させていただきます。

1点目、Bluetoothを使用とのことですが、Bluetoothで音楽を聴いたり、パソコンと繋げたりすると思うのですが、Bluetoothを使用するビーコンを自宅に置いておく場合、電源を切っておかないと自宅の中のBluetoothが混線しないだろうかということと、2点目は王寺町では2つプランがあるとのことですが、現在どのようなニーズがあり、どれくらいの保護者が使用されているのかということが気になっております。三郷町では王寺町の有料プランと同じ内容とのことですが、子どもの通過した通知が保護者の携帯に毎日連絡くるといのはどうなのかなと思い、王寺町では保護者が費用を負担してまでニーズが本当にあるのかということが気になるところでございます。例えば、無料プランでは履歴が残るとのこと、保護者の方がその履歴を確認して安心できるというのであれば、有料プランではなく、無料プランでも良いのではと思いましたが、王寺町の現状を確認させていただきたいと思っております。

また、見守りというところで、保護者が常に仕事をされている家庭や遅くまで保護者の帰りを待っている家庭も多くあると思います。家の中で居たとしても、世の中のニュース等を見ると心配な状況であると思います。もし安全面を考えるのであれば、例えばセコム等に家の中でも見守りができるような費用を助成するなど、そういったことの検討もしてはどうかかなと思いましたが、このビーコン事業を聞きながら、昨今の事件を鑑みると家の中に居たとしても安心

はできないのかなと思います、少しビーコン事業の内容から外れましたが、今後ご検討いただければと思います。

担当課（教育総務課）

まず、Bluetoothの件で、ビーコンを家庭に持ち帰った際の影響でございますが、現在業者の方と何度か打ち合わせしている中、また他の市町村でも導入・実施をしている中、Bluetoothの問題は聞いておりませんので、問題ないかと考えております。そして、王寺町の無料プラン内容でございますが、少し補足をさせていただきますと、保護者の方は履歴を見ることもできない内容となっております。何か事件が発生した際に、業者経由で履歴を確認するというものとなっております。ですので、保護者の方が履歴を確認することはできないものとなっております、確認したい・しようとなると有料プランでないといけないものになります。ですので、保護者の方からすると確認ができる有料プランの方が良いと思っております。

そして、家庭の安全面の件ですが、現状は防犯カメラの設置場所にビーコンの設置場所を合わせることによって、万が一事件が起きた時にビーコンによる受信において子どもがこの場所は通過したが、次に通過すべき場所は通過していないとなると、この間で何かがあったのではないかと、そうするとこの付近の防犯カメラを確認する。こういった用途で防犯カメラに併設し運用を考えております。今後、ご家庭の中の防犯となりますと町全体の防犯ということで取り組むことを検討させていただけたらと考えておりますので、貴重なご意見ありがとうございます。

下方委員

ご説明ありがとうございました。

大西教育長

その他、よろしいでしょうか。

森町長

少し、補足をしてよろしいでしょうか。

予算額として461万7千円を計上させていただき、保護者負担はないとご説明させていただいているところがございますが、この費用といいますのは非常に安価なものとなっております。といいますのも、三郷町では通信網としてBWAを有効活用していることと教育総務課によるビーコン導入業者との交渉の賜物でございます。次年度から新1年生については卒業する6年生の受信機を活用し、運用を行っていきます。

大西教育長

その他、よろしいでしょうか。

それでは、次の案件に移らせていただきます。

次第2案件(2)子どもの居場所づくりについて、を議題とします。担当課より説明をお願いします。

担当課(教育総務課)

それでは、資料の2ページをご覧ください。

予算額は20万円となります。初めに全国の小中学校における不登校児童生徒数ですが、2022年10月に文科省より公表された令和3年度実績は24万4,940人となります。令和2年度から4万8,813人増加し、10年前と比較すると約2.1倍となっております。在籍児童生徒にしめる不登校の割合は2.6%となり、中でも小学生の不登校児童数は8万1,498人で、10年前の約3.6倍となっております。不登校の問題は小学生においても深刻な問題となっております。

次に三郷町の不登校児童生徒数ですが、令和5年1月末時点で30日以上欠席児童が、三郷小学校で6人、三郷北小学校で6人、三郷中学校で25人、合計37人となり、そのうち90日以上長期期間欠席の人数が三郷小学校で5人、三郷北小学校で2人、三郷中学校で14人、合計で21人となっております。令和4年3月末時点と比較すると3

0日以上の欠席人数が11人増加している状況です。そのような中で、町、学校や関係機関、委員の皆さまも参加いただいている不登校対策連絡会において、毎月個々の状況報告や対策について協議をいただいております。中でも学校に通いたくても通うことができない子どもたちへの対策が喫緊の課題だということは皆さまも承知いただいているところでございます。この要因については、学習面や対人関係などさまざまな要因があり、中々打開策を考えることは難しいところでございます。そのため、令和5年度は不登校対策に取り組む先進地を視察し、その中で子どもたちの心の拠り所となるような、学校でも家庭でもない第3の居場所づくりを考えていきたいと思っております。ですので、予算額20万円につきましては先進地の視察として計上させていただいております。次に資料の3ページには直近5年間の30日以上の不登校児童生徒数の推移を掲載しております。総児童数を見ていただいてもお分かりになるように、児童生徒数が減少傾向にもかかわらず、不登校児童数が増加傾向となっております。説明は以上となります。よろしく願いいたします。

大西教育長

ありがとうございました。ただいま教育総務課長より説明いただきましたが、補足説明をさせていただきたいと思っております。

不登校対策連絡会の中では、不登校児童が増加しているということは把握しているところではありますけれども、現在その対応策としてフリースクールの設置を検討しております。このフリースクールにつきましては、令和4年12月の定例議会の一般質問につきまして、答弁では設置を考えていないという答弁をいたしました。その後開催した定例教育委員会において下方委員より、まずフリースクールについて勉強することが必要ではないかというご意見をいただき、事務局の中で協議をした結果、やはり三郷町に則したフリースクールの設置が必要なのではないかということで、設置に向けて方針を立て、令和5年度に先進地の視察として予算化をさせていただきました。

フリースクールにおいてもいくつかの形があり、まず学校に登校はできるが教室に入ることができない児童・生徒のために学校内にフリースクールの設置を考えており、学校内の居場所づくりに関しては令和5年度から奈良県教育委

員会が校内フリースクールを設置する学校に対して、教員の加配をするということで提案をされています。内容はまだ決まっておりませんが、三郷町においても三校で校内フリースクールの設置を検討したく、県教育委員会の制度を活用していきたいと思っています。また、万が一教員の加配は無くても、事務局におられます指導主事の先生方や不登校対策の指導主事の先生方等に校内フリースクールの対応をお願いしたいと考えております。また、学校にも登校できず、家から出ることもできないという児童・生徒もおります。そのような子どもたちに対して、1歩でも家から出る、そう促すことができるような居場所を作りたい。その居場所としてフリースクールの設置を検討し、そのような子どもたちが少しでも興味をもつことができるような、例えばスポーツができる環境であったり、オンラインで授業を見ることができる環境であったり、何か興味を引き出すような居場所を学校の外で作っていきたいと考えています。いずれにいたしましても、三郷町に合ったフリースクールを令和5年度で検討し、作っていきたいと思っています。その都度、委員の皆さまにはご報告させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、説明につきまして何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。

鶴丸教育長職務代理者

先進地につきましては、どこか候補があるのでしょうか。

担当課（教育総務課）

先進地ですので、どこか取り組みをしている自治体は全国的に見てもいろいろとあるのですが、関東方面で現在充実した取り組みをしている自治体もございますので、まずそちらの方で検討しております。

鶴丸教育長職務代理者

不登校というのは非常に根深いものです。三郷町でも10年ほど不登校対策連絡会で協議をしておりますが、表に掲載していただいている通り、不登校児

童数は右肩上がりとなっています。非常に残念な結果でございます。問題点として、1つは教育長のお話もありましたようにフリースクールの教員の加配など、この件にかかわらず教員を増やすことでいろいろな問題が解決する訳ではないということでございます。具体的には、前回の不登校連絡会で議題としてあがりました内容で、対象児童は祖母が指示することであれば何でも聞くことができる。そのような人間関係の児童もおりますので、対象児童が本当に信頼をおくことができる大人・先生が如何に重要であるかということが、学校に来ることができない子どもたちにとっては大切なポイントなのではと思います。先進地に視察へ行くことで、その先進地の取り組みが果たして三郷町の各学校に適合するのかなということも含めて、一度検討いただければと思います。

大西教育長

鶴丸教育長職務代理者が仰るとおり、子どもが信頼して話ができる大人、学校であれば先生方になろうかと思いますが、今学校内は本当に忙しく先生方も子どもたちへ目が行き届かない環境です。ですので、教育委員会としては先生方の人数の加配を強く要望していき、子どもたちと1対1で対話できる教育環境を作っていかなければならないと考えております。先進地に行き、さまざまな話を聞くことで、三郷町に合ったフリースクールの設置を目指したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

森町長

そうしますと、教育委員会としては2本立てを推進していくということですか。

大西教育長

はい。その通りです。教育委員会としては学校内のフリースクールと学校外のフリースクールの設置の2本立てで取り組んでいきたいと考えております。

森町長

学校に行けない子どものフリースクールについての考え方をどういう形で進めていかれるのかということを確認したく聞かせていただきました。

大西教育長

学校に行けない子どもたちの居場所づくりは必ず必要となります。ですので、2本立てで考えてまいります。

それでは、その他ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

窪内委員

先進地はどういうところにあるのでしょうか。また、振り返ると以前はフリースクールと言って無かったように思います。私が当時奈良県関係の役員をしていた時に、大和高田市でそういう学校に行けない小学校・中学校の子どもたちを集め、そういうものがあつたように思います。市役所の1室を使用し、部屋を3つぐらい区切られていたように思います。当時は20人ほどの登録があり、15、6人は毎日来ている。特段時間割等は決まっていなかったが、学校の先生や教員免許のある方がおられ、本や机などもあり、そういったところを見学した覚えがあります。当時はフリースクールと言ってなかったような、、、

大西教育長

適応指導教室です。

窪内委員

ああ、そうです。そうです。そういうものが以前からされている市町村があるのであれば、県内でされている自治体も他にもあるのではないかなと思いました。その中で、三郷町に合ったものをとということでありましたら、近隣など文化的に似通ったところの視察がいいのかなと思ったのですが、具体的にどこの先進地に行くとか候補があるのですか。

担当課（教育総務課）

奈良県内でも、奈良市はフリースクールをされていると聞いています。窪内委員が先ほどおっしゃられたように、フリースクールについてさまざまな取り組みをされている自治体があります。そのような情報をいただき、参考にさせていただきながら、先進地を決めたいと考えております。私が先ほど先進地の候補を関東方面で検討とお伝えしましたが、そちらの方に関してはICTを活用された取り組みをされており、学校とは別の場所やその場所に行くことも難しい子どもには家庭内でICTを活用した居場所づくりをされている自治体への視察を行い、参考にさせていただきたいということを考えております。

窪内委員

今はICTの活用が大切になってきますので、いろいろな方法を考えていただければと思います。よろしく願いいたします。

大西教育長

よろしいでしょうか。

それでは、次の案件に移らせていただきます。次第2案件（3）奈良クラブ関連予算についてを議題とします。担当課より説明をお願いします。

担当課（生涯学習課）

よろしくお願いします。令和5年度奈良クラブ関連予算についてご説明させていただきます。資料の4ページをお願いします。

奈良クラブにつきましては、昨年みごとJFLで優勝を果たし、奈良県初のチームとしてJリーグへ昇格しました。3月から開幕するJ3の勝利に向けて、現在奈良クラブの練習を1月に開所した新拠点「ナラディーア」でされています。「ナラディーア」につきましては、地域のみなさんにも気軽に来ていただけるよう、グッズや特産物等の販売をするカフェ店舗等も令和5年度の第2期工事で建設予定でございます。奈良クラブのホームタウンである本町につ

きましても、奈良クラブと相互連携・協力していくことでスポーツの推進・教育・観光振興・広報などさまざまな分野において、それぞれの活動の充実発展が見込まれること、奈良クラブの今後の目標について数年後にはJ 2昇格も視野に入れておられるとのことで、さらなる高みを目指していただきたいとのことです。本町におきましても町民の皆さまとともに応援をするため、町民サポーターを募集しております。現在、3,300名の方が加入していただいております。令和5年度の奈良クラブ関連予算の総額につきましては、336万円を計上しております。1つ目につきましてはの町民サポーター推進協議会補助金は170万円でございます。①～⑨につきましては、町の若手職員からのアイデアにより計上したものでございます。①オリジナルゴールパフォーマンス募集事業といたしまして、動画撮影したゴールパフォーマンスを応募いただき、後日採用されたものを三郷町民デーにおいて、選手全員で披露していただきます。②奈良クラブ応援経費につきましては、奈良クラブが販売する法人用観戦チケット1試合分130枚を購入し、町民サポーターへ配布し観戦を促します。③飲食ブース出展補助事業につきましては、町内飲食店がホームゲームに飲食ブースを出展する際、三郷町の広報活動を行うことを条件に出店費用1店舗あたり3万円の補助を行うものです。④インスタ拡散促進事業につきましては、公式試合写真をインスタへ投稿をしていただくと、試合当日に会場にて確認をさせていただきます、ドリンクをプレゼントするものでございます。また、写真大賞を決定して発表するとともに広報紙へ掲載を予定しております。⑤フラッグ・横断幕等設置事業につきましては、町内主要道路街頭にフラッグを掲げたり、駅前広場・公共施設壁面等を利用し、大型横断幕を設置いたします。⑥幼保連携のぼり旗作成事業につきましては、「がんばれ！奈良クラブ」だけをあらかじめ印刷した寄せ書き用ののぼり旗を40旗を用意し、文字の周りを子どもたちの手形や絵で彩り、掲示を行います。⑦スポーツ大会参加促進事業につきましては、選出との交流の場を設けて、例えばリフティングをしながら町民は30m、選手は60m進む競技等の実施を考えております。⑧マスコットキャラクター公募への参加促進事業につきましては、奈良クラブが実施する公募者にたいして、記念品を配布します。⑨奈良クラブチームである「バモス」との交流事業につきましては、町内の障害者施設の入所者通所者の方及び町内在住で障がいをお持ちの方にサッカー体験を実施します。⑩事務局経費につきましては、消耗品、印刷

製本費、役務費、町民デー応援経費等経費でございます。

2つ目、キャリア教育における選手派遣事業で100万円でございます。選手との交流を始めとし、キャリア教育の一環として、幼保・小中学校に、奈良クラブ所属選手の派遣を実施します。

最後、ナラディーア広告看板掲載料として66万円でございます。奈良クラブの新拠点「ナラディーア」内に広告看板を設置し、施設を訪れる方々に対し、三郷町のアピールを目的としております。

奈良クラブ関連予算につきましては以上でございます。

大西教育長

ただいま説明のありました奈良クラブ関連予算につきまして、何かご意見・ご質問等ありますでしょうか。

下方委員

キャリア教育における選手派遣事業について100万円の予算をつけていただけるとのことですが、内容をお伺いさせていただきますでしょうか。

担当課（生涯学習課）

各保育園・幼稚園・小学校・中学校など各クラスに実施をしようと思うともう少し金額が大きくなるのですが、初年度ということで100万円としており、選手を1回派遣するごとに1万円としその回数を計上しております。

窪内委員

実は私事なのですが、先日幕張メッセに行き少し幕張メッセから遠いホテルに宿泊しました。そのホテルがある駅の階段を下りていくときに、「我が町ではジェフユナイテッドを応援しています」という案内が、いたるところに貼っていました。そして、チームカラーである黄色で駅が染まっていました。そこ

に貼っていたものは横断幕ではなかったので低い予算でできるのではと思います。ですが、階段を下りていくときに必ず目に入ってくるもので、この町は「ジェフユナイテッドのまちなんだ」ということを感じました。資料の中の⑤フラッグ・横断幕等設置事業があり、さまざまな場所に思い切って設置をしていけばよいのではと思いました。

担当課（生涯学習課）

ありがとうございます。令和5年度の事業でございますので、今後このような意見をいただき、進めていきたいと考えております。

窪内委員

もう1点ございまして、この間朝、家の近くのコンビニに行きました。そうすると、土曜日だったと思うのですが、すごく背の高い外国の方が通訳の方とコンビニに入って、出ていかれたのですが、「きっと、奈良クラブの方だ」と思ったのですが、残念ながら名前が分からず、奈良クラブの選手の方にどのような方がおられるのかも知らなかったもので、声をかけることができませんでした。その後に検索してみると、監督であることが分かり、私は監督の名前も知らなかったのかと思いました。このように、もっと奈良クラブを知ってもらうことが必要だなと感じましたので、もっといろいろなところに監督や選手・スタッフの方の紹介を少なくとも町の広報紙には掲載をし、奈良クラブのページなど例えば今月の奈良クラブというようなことをどんどんすることで、町民であればだれもが選手の名前を言えるような、監督がおられたら声をかけられるような町にしていけたらなと思いました。また、そういうことが広まっていくようぜひお願いしたいなと思います。

森町長

ここでは生涯学習課の奈良クラブの関連予算としてでてきておりますが、今町全体で奈良クラブを応援していこうという機運が高まっております。私たち

も奈良クラブが本当にＪリーグに昇格するとは１年前は思ってもいませんでした。ところが、どんどん勝ち進み、私も７試合ほど見に行っているのですが、これは昇格するのではないかと思いはじめ、また観客動員数も必死になって集め、町も一丸となり動員数を集めましたので、徐々に機運が高まっていた状況です。そして、先ほどのお話された監督はフリアン監督というのですが、フリアン監督も三郷町に引っ越したいと話されています。そういう機運を徐々に高めていかないと奈良クラブの躍進と三郷町がサポーターとしてやっていくスピードが若干かけ離れており、今必死になって追いついていこうとしています。もう一つは先日１月２９日に「ナラディーア」がオープンしました。そこにアカデミーも入ります。その育成枠の子どもが三郷中学校に４人転入され、「ナラディーア」で練習をします。そして、西和清陵高校に入学する生徒も転入され、全部で約１０人以上の子どもたちが三郷町に転入し、アカデミーに通われるとのことですので、育成枠に入るということは三郷町の住民になるということで、そういった子どもたちも今後増えていく形でございます。ですから、奈良クラブの応援体制と奈良クラブ躍進を上手にリンクさせていくことを頑張ってもらいます。また、どこかで広報をしたり、ホームページに掲載したりしていこうと思っていますので、一緒になって盛り上げていけたらなと思っています。よろしく願いいたします。

窪内委員

選手の顔と名前を覚えなさいといけませんね。

大西教育長

よろしいでしょうか。

それでは、次の案件に移らせていただきます。次第２案件（４）ＦＳＳ３５スポーツパーク関連予算について、を議題とします。担当課より説明をお願いします。

担当課（生涯学習課）

はい、それではF S S 3 5 スポーツパーク関連予算について説明いたします。F S S 3 5 スポーツパークにつきましては、冒頭町長より説明いただきましたとおり、誰もが住みやすいまちを推進し、住民サービスの向上に努め、インクルーシブシティさんごうの実現を目指すということでの、インクルーシブ予算でございます。令和5年度のF S S 3 5 スポーツパーク関連予算については1, 9 3 3万円を計上しております。F S S 3 5 スポーツパーク施設管理業務につきましては5 7 0万円でございます。室内練習場の横に管理事務所を設置し、スポーツパークの管理業務を委託するものです。年間の開園日は3 6 2日と見込んでおります。次に、F S S 3 5 スポーツパーク管理経費は2 6 3万円を計上しております。消耗品費、光熱水費、看板製作費、A E Dリース料、管理室エアコン設置工事用として計上しております。最後に、F S S 3 5 スポーツパーク室内練習場整備事業で1, 1 0 0万円を計上しております。①スポーツパーク内トイレ設置に伴う設計業務委託につきましてはスポーツパークの開園により新たにスポーツパークの室内練習場の一部を利用し、子どもから大人まで障がいの有無にかかわらず誰もが利用しやすい多目的トイレを設計するため、設計業務委託として1 0 0万円を計上するものです。②スポーツパーク室内練習場改修工事につきましては、既存の室内練習場をインクルーシブシティとしてスポーツを親しむ全ての方にとって新たな拠点となるよう関係機関と十分な協議のもと整備を行うもので、9 1 0万円を計上しております。③スポーツパーク室内練習場備品購入につきましては、9 0万円を計上しております。生涯学習課の説明は以上でございます。

大西教育長

ただいま、説明のありましたF S S 3 5 スポーツパーク関連予算につきまして、ご意見・ご質問等がございますでしょうか。

窪内委員

スポーツパーク内のトイレ設置について、100万円の予算をあげられているのですが、最終的にスポーツパーク内にどれくらいのトイレが必要との目標設置箇所はありますでしょうかということと、どれくらいの人数を今回あげられているトイレで対応すると考えておりますでしょうか。この2点をお伺いできればと思います。と言いますのも、私の仕事の取引をしている方で、さまざまな場所の公衆トイレの写真や評価を集めたホームページを作成されている方が居られます。その方がおっしゃられるには施設の内容は、トイレを見ればわかるということをテーマにしておられ、確かに一理はあるなということでも聞かせていただこうと思いました。ですので、この2点をお伺いできればと思います。

森町長

この予算計上は、FSS35スポーツパーク内の室内練習場のトイレだけの予算でございます。室内練習場はもともと奈良学園大学野球部の雨天練習場でございます。この予算はそこの中で使用されるトイレの設計予算であり、それとスポーツパークに来られた方にも使用いただけるものでございます。また、その周辺にもトイレがあり、近くの10号館にもトイレがございます。そしてその10号館の近くには広い駐車場があり、その駐車場の既存のトイレを現在改修しております。また、10号館は3階までありそれぞれの階にトイレがあります。ですので、現在室内練習場のトイレの設計を進めておりますことと、周辺のトイレの整備も進めておりますので、規模的にはかなりの人数が来られたとしても大丈夫かなと想定しております。確かに、この室内練習場のトイレだけでは、スポーツパークすべての人数を対応することは難しいですけども、スポーツパークの中心のトイレとなるのではないかなと思います。

窪内委員

これは室内練習場だけの話なのですね。

森町長

そうです。ただ、使用されるのはスポーツパークを利用される方も利用できますし、イベント等で大人数の方がこられる際は10号館のトイレも使用できるようになっており、10号館横の駐車場にあるトイレも現在改修しており、恐らくもう改修も終わっております。そのため、多くの方が来られたとしても対応できるものと想定しております。

窪内委員

全体像が分かりました。ありがとうございます。

大西教育長

その他、ございますでしょうか。

それでは、次第3その他について、であります。何かございますでしょうか。

鶴丸教育長職務代理者

最初、ご説明いただいたビーコンシステムについてであります。予算を計上いただき、子どもたちの見守りということで感謝いたします。そういった形で機器を活用することは大事であることはもちろんですが、やはり未だに登下校の際は白線からはみ出して歩いている子どもやふざけて歩いている子どももいる訳でございます。特に中学生の生徒などは、中学生になるとそういうことをしている子どもは少なくはなるのですが、中学生同士と一緒に歩いている時は良いのですが、先日小学生と中学生と一緒に下校している時がありまして、2人でふざけている時がありました。中学校の先生方には再度登下校の注意を促していただきたい。それから、以前にもお伝えしたことはあるのですが、場所にすると龍田大社の近くの交差点で、なにかの工事を行い、道路のアスファルトに穴があいており、日に日に穴が深くなっている。そして、基礎が見えてきており、拳の大きさの破片が飛び散っている。そこに車が通って歩行者にあ

ったりすると大きなけがをすることになります。一日も早く舗装していただけたらと思っています。お伝えしたいことは機器に頼るだけでなく、毎日誰かが目視で道路状態や登下校状態を確認して、学校であれば先生に連絡するなど、日々安全な登下校を見守っていただけたらなと思っています。それと、スポーツパークの件ですが、森町長もおっしゃられたようにどのような方も同じ条件で生活をするということに関して、先日障がいをお持ちの方が私のところに来て、中学生の子どもたちがその方の事をからかうと報告をいただきました。その方にすると、大きな心の傷となるのではと思う。その方も中学校に言ってください。とおっしゃられ立ち去られました。スポーツ分野だけでなく、三郷町としても毎年差別を無くす強調月間もあり、地域の方を集め集会等をされていますが、いっこうに根本が改善していない。そのような土壌がどこかにあるのではないかと思い、言葉で言ってもなおらない、お互い私も含め意識を持たない限り、なくならないのではと考えます。日頃お世話になってはいますが、十分いろいろなものに目配りできるようにお願いしたいなと思っています。

担当課（教育総務課）

貴重なご意見ありがとうございます。また毎日、龍田大社のところで交通安全をしていただき感謝申し上げます。ビーコンシステムを導入しますというお話もさせてもらっていますが、実際その時に子どもたちに危険が及ぶ場合はそこにおられ、見守っていただいている方のお力とご協力はかせないのかなと思っています。いつもありがとうございます。また、来月春休みに入りますので、先生方にも子どもたちの登下校の指導を徹底させていただきたいと思っています。そして、龍田大社付近のアスファルトの陥没で車が通ると危ないという件では、関係機関が分からないということもあろうかと思いますが、教育総務課にご連絡いただければ、担当課にお話しさせていただきます。今回の件につきましても、担当課に連絡しますのでよろしく願いいたします。

最後に、中学生にからかわれるという障がいをお持ちの方の件につきましても、中学校にも教育委員会にも同一の方か分かりませんが、そういうお話も聞いております。その都度、中学校とは連絡をしながら生徒にも人権的は部分も

含めて指導をいただいております。中々すべてがなくなるには時間がかかるかとは思いますが、根気よく先生方には指導いただいております。また、今後そういった意見がありましたらいつでもご意見いただければと思いますのでよろしく願いいたします。

大西教育長

その他、よろしいでしょうか。

下方委員

奈良クラブが三郷町に来たということで、すごく盛り上がりを見せておりますが、教育においても非常に子どもたちへ良い影響を与えるものだと思います。キャリア事業におきましても、協力していただけてますし、何よりも子どもたちが選手と実際に触れ合うことができるのかそういった環境での教育は本当に良いのですが、懸念事項もありましてその分応援される方が町外から多く三郷町に来られると思います。そうなると保安・防犯に気を配っていかねばいけないことが出てくるのだろうなということと、町全体で盛りあがっていることは良いのですが、先代の方が築いてこられた三郷町の中でも日本遺産に認定をされていることやきらきらぼしなどが清掃車の音楽になっている。なぜかという童謡の宣言をしたからなど、そういったことを子どもたちに教育の中でしっかりと伝えていかないといけないなと本当に思うところでありますので、変わっていく三郷町と今まで築いてきた三郷町を伝えていくことを同時に伝え誇りにし、日々すごしてほしいと思っていますのでよろしくお願い致します。

森町長

決して、今までの事を忘れていたのではなく並行して事業を行っています。童謡のまちさんごうを宣言し、日本遺産に登録された。童謡のまちはコロナの影響でイベント等が少なくなったため、若干アピールする機会が少なくなった

と思いますが、日本遺産に関しましては今後想定されるのは川のまちと川の駅、亀の瀬という連動型が令和6年度、7年度、8年度と順次オープンしていきます。現在奈良クラブが一番盛り上がっているところですので、すごく目立っておりますが、その他の事に関しても決して忘れてはごいません。令和7年が川の駅のオープンとなり令和8年が川のまちのオープンとなると思います。良ければ教育委員の皆さんも亀の瀬プロジェクトマップをご覧いただけたらと思います。平日にもし、みていただける時間があればぜひご覧いただけたらと思います。なぜそのようなことをお伝えするかというと「0」からのスタートの観光を目指しており、川の駅と亀の瀬の資料館を連動させようと考えています。日本遺産の交流拠点として川の駅を作ります。そして川の駅から亀の瀬プロジェクトマップを実施しているところまでの川沿いに遊歩道の作成を国交省がしていただけます。ですのでその往来ができJR三郷駅との連動はかわまちが裏手にできることで連動し、非常に良い観光ルートができ、必死に取り組んでおります。今回、柏原市のプロジェクトマップでも万葉集などの歴史や地すべりの内容もできますので、ぜひご覧いただきたい。ご覧いただくと三郷町が現在どういう事業をしているか、柏原市と連携してどのような事業をしているかということがお分かりいただけるとと思います。

大西教育長

ありがとうございました。その他、ございますでしょうか。

以上で令和4年度第3回総合教育会議を閉会いたします。長時間、ありがとうございました。